

朝日山だより



♪ひな祭りの様子♪

社会福祉法人 あさひ会

- ・生活介護事業所 朝日山学園
- ・グループホームあさひ
- ・ヒューマンサポートタッチ
- ・佐賀県東部発達障がい者支援センター結
〒841-0073 佐賀県鳥栖市江島町字西谷 3300-1
- TEL (0942) 84-3266 FAX (0942) 84-3286
- (0942) 81-5409 (支援室直通)

※法人の基本理念の見直しを行いました。

**支援を必要としている方が、
その人らしい生き方ができ、人として尊重され
自分で考え方判断ができ、地域の方々と関わりながら
生きていくことをめざします。**

これからもあさひ会を宜しくお願ひいたします。

「会話2例から」

あさひ会 理事長 上尾 央子

8050 という小説がありますが、私と息子はまさにその歳、87 歳と 59 歳、半世紀以上を共に生きてきたことになります。この間、私は一体何を考え、何を目指して来たのでしょうか。息子の価値をどこに求めるかにもがき苦しみ、やっと生きる意味を見つけられた道程だったかと思います。でも決して悲観的ではありませんでした。友人や心ある周りの方々に恵まれた息子の笑顔、加えてともに歩んできた母達との励まし合いで心身共に強くなれました。そんな年月の中で、ドキッさせられた会話を 2 例紹介します。

まだ、大阪に住んでいた頃、息子と市役所ロビーで、知り合いの障がいのある女性と話をしていた時の事です。丁度通りかかった友人と私は一言挨拶。と、その友人が去った瞬間、側の女性が「おばちゃん、今のは敵ね、味方ね」と。私にとっては、全く思いがけない言葉、一瞬戸惑いました。私の日常にはその捉え方はなかったからです。「そりゃ味方よ。私の友だもんね。」と伝えると、彼女はホッとした表情になりました。しかし、この言葉は一体何を意味しているのでしょうか。私はこの言葉の裏に彼女の辛い日常を垣間見る気がしました。心ない差別の言葉、蔑みの目、それに緊張する彼女の姿を見ました。障がいのあるご本人の思いを改めて感じました。

もう一つの例は、息子に関わる会話です。義務教育 100 年目の年というのに入学する学校がないという辛さの末、やっと許可された校区の小学校での事です。下校と同時に我が家は押しかける同級生で満員、ある日、夢中になっていた遊びの中から突然一人の男の子が私の所へ走って来ました。そして、いきなり「おばちゃんは、〇〇君(息子)を産んで良かったと思うてる?」と。5 年生の子どもから産んだ事の是非を問われるとは、びっくりしました。「そりゃ良かったと思ってるよ。息子のお陰でみんなにも知り合えたしね。」と伝えました。「そやね」とだけ言って、また皆の中に入っていました。

子どもは直球、時には辛辣な言葉も浴びせけてきます。しかし私は最高の理解者と思い、飾らず、正直に息子の現実、私の思いを全て伝えてきました。そして、2 年が過ぎた頃には「おっちゃんとおばちゃんの次に、先生達より僕達が〇〇君の事を知っている。」と言い切っていました。日常のマイナスな場面を含めた付き合いの中から、障がい故の不便さや辛さ、世の中の矛盾を体得してくれました。障がいのある人達にはこう接しなくてはならないという様な形の上のものではなく、障がいのある人達の心を汲みとり、代弁できる子どもになってくれました。

今、障がいのある人も誰もが共に支え合って暮らせる社会、共生社会の実現が目指されています。4 月には「障害者基本計画」第 5 次計画が出されるようです。私は、目に見えない心のバリアフリー、差別や偏見がない社会になる事を強く望みます。どうすれば対等に認め合えるか、これは非常に難しい問題です。しかし、小さい頃から共に育つ日常の中で深く考え合う事ができれば、敵か味方かと悩まなくていい世の中に自然になるのでは…と思うのです。



～行事報告～

【ハートライトフェスタ】



昨年 12 月、鳥栖市中央公園で開催されたハートライトフェスタに作品を出展しました。

今回は“花火”をイメージし、日頃リサイクル活動で取り組んでいるペットボトルのキャップを利用して作品を作り上げました。

作品作りに利用者の方全員が参加できるように、一人ひとりの特性に合うペットボトルキャップの貼り方を考えて取り組みました。利用者の方は、一つずつ丁寧にペットボトルキャップを台紙に貼り、その台紙を重ねてとてもきれい

な“花火”が完成しました。作品を見て頂いた方から、「すごくきれいでしたよ」等の言葉を頂き、利用者の方は大変嬉しく感じたと思います。今回作品出展を通して、利用者の方、皆で一つの作品を作り上げるとても良い経験になりました。今後もこのような活動に積極的に参加し、地域の方との繋がりを大切にていきたいと思います。

(支援主任 田中)

【クリスマス会】

今年度も、利用者の方々とスタッフでクリスマス会を開催しました。ゲームや毎月練習を行っている音楽発表、スタッフの出し物、利用者の方々がお待ちかねのケーキやクリスマスプレゼントまで、思い思いに一時を過ごしました。

今年は、より利用者の方々とスタッフで一緒に作り出すクリスマス会を意識し、始めと終わりの挨拶や乾杯の挨拶、司会進行まで、各利用者の方々にも役割をお願いしました。また、スタッフの出し物では、音楽にのせたスタッフの動きに合わせて、利用者の方々もリボンを振ったりと、会場が一体となる場面も見ることが出来ました。日頃の活動とは違う一日に笑顔も多く見られ、スタッフ一同も嬉しい一時でした。

(支援主任 中西)



【芋ほり体験】

利用者の保護者の方のご厚意で、昨年 11 月・12 月と芋ほり体験に行きました。11 月はさつま芋と里芋、12 月はじゃが芋堀りでした。利用者の方の反応は様々で、普段見られない新たな一面を感じる機会になりました。土に触れたり、芋を抜いたり探したりと、とても真剣な眼差しで、意欲的に、そして何より楽しみながら取り組まれていました。

収穫した芋は、給食やおやつで提供しました。さつま芋は芋スティックに、じゃが芋はポテトチップスにして美味しそうに食べられた様子が印象的でした。貴重な経験の機会を頂き、心から感謝しております。これからも利用者の方が充実した日中活動が送れるよう、様々な経験ができる機会を作りたいです。(支援係長 古川)



～日中の取り組み～

【N 氏の下駄箱掃除】

N 氏は、昨年度から靴箱の掃除を取り組んでいます。今年度は、来客用のスリッパ置き場まで範囲を拡大しました。

移動式スケジュールとモップを持って靴箱まで移動し、スケジュールを見て、まずは靴箱からスリッパを箱の中に入れて、靴箱を空にします。次に、モップで掃きます。掃き終わったら、箱の中のスリッパを靴箱に戻します。スリッパの移動は問題なく行えますが、モップで全体的に掃くことが難しいようで、小さく左右に小刻みに掃く様子が見られました。大きい動きを経験してもらうため、一度、スタッフと一緒にモップを持ち、大きく左右に掃きました。すると、次は、前回より大きくモップを左右に動かして掃くことができています。お客様を気持ちよく迎えられるよう、N 氏の大変な役割として、これからも靴箱掃除を続けていきたいと思います。

(支援員 有働)



【ペットボトルキャップ・アルミ缶プルタブの寄付活動】



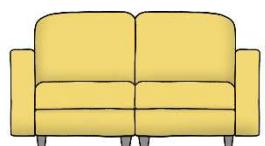
朝日山学園で取り組んでいるリサイクル活動の一環として、ペットボトルやアルミ缶を使った作業に取り組んでいます。その作業工程の中で出るペットボトルキャップやアルミ缶のプルタブを、鳥栖市立基里小学校に寄付させて頂いています。その際、寄付したペットボトルキャップやプルタブが、生徒さん達の支援活動につながっている事のお礼と感謝の気持ちを伝えてくださいました。お礼を言われた利用者の方は、自身の活動が役に立てていることや基里小学校の皆さんのが喜んでくださっていることが伝わり、とても嬉しそうでした。

ペットボトルキャップやアルミ缶のプルタブの寄付を通じて、直接地域の方々と関わる機会が持てたり、地域の中での役割を感じれる貴重な機会となっています。このような機会を快く受け入れてくださっている基里小学校の皆様には、心より感謝しております。これからも、どうぞ宜しくお願ひいたします。

(支援係長 古川)

◎感謝とご報告◎

前回の朝日山だよりで利用者の方の休憩用のソファを募集しておりました。おかげさまで、いくつかソファを寄付していただきました。現在、利用者の方は休憩などで使用し、リラックスした表情で過ごされています。スタッフ一同感謝しております。本当にありがとうございました。



☆新しい職員の紹介☆

【朝日山学園 事務員】 寺崎 真帆さん

昨年9月に朝日山学園の事務職員として入職しました。社会福祉法人での事務は初めてで、日々勉強ですが、楽しく仕事させていただいている。今後ともよろしくお願ひいたします。



◎寄付者ご芳名

令和4年8月～令和5年1月

才田 亮市様	藤井 孝子様	八谷 まち子様	眞田 武彦様	内田 孝喜様
中山 勝子様	鈴木 洋二様	岡 潤様	三木 洋子様	田中 洋子様
福島 多恵子様	有家 綱雄様	廣瀬 耕三郎様	愛甲 強様	大坪 麻子様
角 黙様				

上田歯科医院院長 上田 昭彦様 上田 裕介様 上田歯科医院の募金箱に募金頂いた皆様
クリスマス会

末藤 久美子様	鈴木 洋二様	医療法人野田内科理事長 野田 芳隆様
廣重 新興様	桑原 美智子様	鈴木 洋二様 西久保 正子様
原口 敏子様	藤崎 美枝子様	

◎9月～2月行事等【朝日山学園】

9月	2	環境営繕	12月	1	誕生会
	9	ケース会議		2	環境営繕
	15	献立会議		9	ケース会議
	23	職員会議		14	献立会議
	24	TEACCHプログラム研究会		16	ケース会議
10月	5	支給金	1月	21	クリスマス会
	7	環境営繕		23	職員会議
	14	ケース会議		4	新年利用開始
	19	献立会議		6	ケース会議
	21	ケース会議		13	環境営繕
11月	28	職員会議	2月	18	献立会議
	29	佐賀県事業研修会		25	誕生会
	4	支給金		27	職員会議
	11	ケース会議		1	節分会
	12	佐賀県事業研修会		10	環境営繕
	17	献立会議		14	バレンタイン企画
	18	ケース会議		21	誕生会
	19	TEACCHプログラム研究会		24	職員会議
	25	職員会議			

*料理教室 10月・3月

*音楽活動 9月～2月（グループに分かれて実施）

■編集後記

令和5年度に向けたこのタイミングで、法人の基本理念の見直しを行いました。

基本的な考え方は継承していく、重い障がいに限るのではなく、障がいを有する皆さまお一人おひとりを大切に考え、抱えている生きづらさに視点を当て、ご本人が必要としている支援を届けられることを目指していきます。

利用者の皆さまの人生がより良いものになれる様に、これからもあさひ会は一歩ずつ前に進んでいきたいと思いますので、どうぞ宜しくお願ひ致します。

（朝日山学園 管理者 橋口）